

# 市民のひろば



☎ 857-8585 (住所不要) 市役所秘書課広報係(☎④1111)  
Eメール hishok@city.sasebo.nagasaki.jp



皆さんからお寄せいただいたお便りをご紹介します。ご投稿いただいた皆さん、ありがとうございました。

市制100周年で、佐世保の街が  
活気付いているようです  
(針尾中町・川野 美穂子さん)

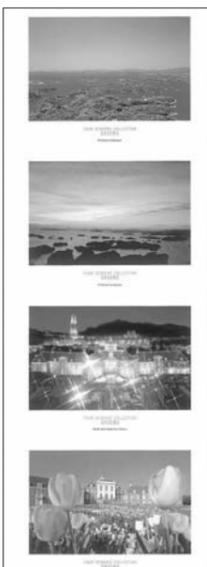
広報紙は昔と比べ読みやすく、私の情報源でもあり、毎月楽しみにしています。特に、100周年で毎週のように市内のあちこちでさまざまな取り組みがなされており、佐世保が活気付いている感じがいたします。

毎日の生活を営んでいる町内で、私たち市民が気掛かりなことに継続して取り組んでいけば、佐世保の街はもっと元気で住みやすくなると思います。絵はがきも県外の友人たちに好評ですよ。

(広報係から)

お便りありがとうございました。ことしの4月から来年3月までの1年間は、市制100周年を記念して、市主催の催しのほか、市民の皆さん自らが企画して実施するものなど、80以上のイベントが展開されています。

また、川野さんと電話でお話ししたところ、市が作成した4枚つづりの絵はがき(写真右・実物はカラー)は、市外のご友人や昔佐世保に縁があった方などにとても喜んでいただいているそうです。「県外の人にも佐世保をアピールできる良い企画だと思います。よく利用していますよ」とのことでした。絵はがきは、市役所10階の観光課で差し上げています。どうぞご利用ください。



はがきに答えと住所、氏名、年齢、電話番号、広報紙へのご意見を書いて、12月21日必着でどうぞ。

問題 来年の「成人の日」は、1月 日  
です。  
問題 12月24日は「学校 記念日」です。  
問題 「させぼ三景」は港・まち・佐世保、  
九十九島、 の3つです。

全問正解者の中から抽選で、毎月5人に図書券をプレゼント。発表は発送をもって代えさせていただきます。

前回の答えは、レッド 火災 相 でした。たくさんのご応募ありがとうございました。

おわびと訂正

11月号の応募締め切りを「10月23日」と掲載していましたが、「11月23日」の誤りでした。広報係からおわびして訂正いたします。

## 思い出の一枚

### 昭和41年の早岐駅周辺の風景

この航空写真は、早苗町の山村玲子さんが早岐中学校2年生のときに購入したものです。

中央に国鉄(現JR)早岐駅が見え、小森川が早岐瀬戸に注いでいます。早岐駅周辺には、まだ田畑が残っていますが、この付近は江戸時代のはじめごろ、平戸藩によって干拓された新田でした。

昭和41年当時は、花高団地の建設工事がまだ始まっておらず、早岐バイパスや、バイパスから花高団地へ通じる高架道路もありません。これ以降、急速に早岐地区の住宅化が進みました。



また、当時は県立佐世保東商業高等学校が、現在の早岐中学校のグラウンドの地に立っていました。東商業高校は、昭和58年に重尾町の現在地に移転し、平成10年の総合学科の開設に伴い、県立佐世保東翔高等学校と校名を改称しました。

懐かしい佐世保の写真とそれにまつわるお話を、広報係「思い出の一枚」あてにお送りください。お借りしたお写真は、郵送でお返しします。



大宮司分  
(大宮町)

古い地名である“字”は、そのまま歴史の証言者です。かつて福石峠と呼ばれていた大宮町は「大宮司分」という字でした。大宮司とは、有名な神社の神主が、鎌倉時代に地方豪族として力をつけ、御家人となって勢力を誇った呼び名です。では、ここの大宮司は誰でしょうか。それは、福岡県宗像郡玄海町田島にある宗像神社、つまり宗像大宮司だったと思われます。

古代の大和朝廷から姓の君を与えられるほどの由緒を誇る宗像神社は、大化の改新(645年)の国郡制で全国七社に数えられる神郡を持っていました。延喜式でも九州で唯一の国家・皇室の守護神となり、天



元2(979)年に太政官令で大宮司職を与えられたのです。平安中期以降は筑前、肥前、豊前と吉岐に60カ所もの所領を持ちました。その一つが大宮町でしょう。

鎌倉時代(1192~1333年)には沿岸防備に奮戦し、また中国、朝鮮との貿易も盛んに行いますが、天正14(1586)年の大宮司氏貞のとき血筋が絶えます。このほかの九州の宮司職は、大分の宇佐大宮司、阿蘇大宮司、肥前では佐賀の川上大宮司などがおりました。

大宮町周辺は、当時、今の福石観音入口付近まで海が入り込み、波静かな佐世保湾内から大村湾岸にかけて、「海人(あもうど)」と呼ばれる人たちが交易や廻船で活動していました。(筒井隆義)

